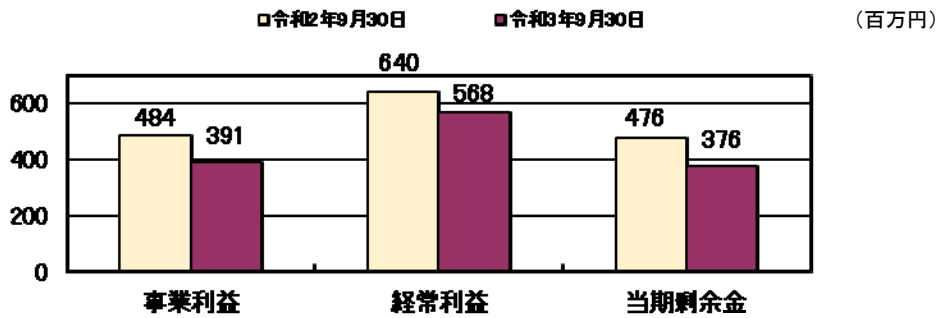


ディスクロージャー

～2021 上半期(2021.4.1～9.30)～



7. 損益の状況



損益状況については、前年同月と比較し減収減益となりました。信用事業の運用収益の減少、共済収益の減少、購買事業の配送委託費の増加、燃料事業譲渡等により、事業総利益（粗利益）は、約3億円減少しました。

一方で、事業管理費も燃料事業譲渡に伴う人件費の減少等により約2億円減少し、事業利益は前年同月比92百万円減少の3億91百万円、経常利益は前年同月比72百万円減少の5億68百万円、当期剰余金は前年同月比99百万円減少の3億76百万円となりました。

8. 金融再生法開示債権(単体)

資産の健全性を高めるため厳格な資産の自己査定を実施し、必要な償却・引当等の処理を実施しています。不良債権等については、担保・保証等による回収見込額と貸倒引当金とで必要十分な保全を図っています。

1 金融再生法に基づく開示債権

(単位:百万円)

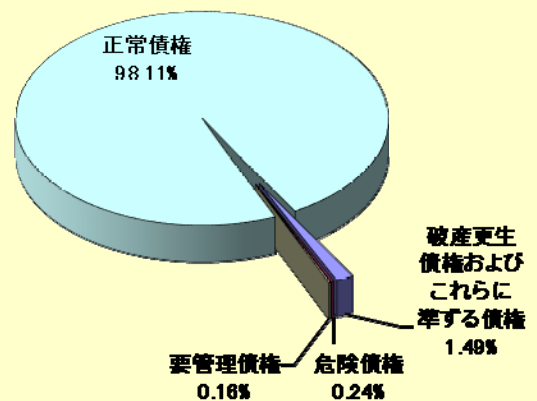
債権区分	令和2年9月30日	令和3年9月30日	増減
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	1,068	1,228	159
危険債権	367	198	△169
要管理債権	140	135	△4
不良債権計①	1,576	1,562	△14
正常債権	78,529	80,804	2,274
総与信額②	80,105	82,366	2,260
不良債権比率①/②	1.96%	1.89%	△0.07%

注1)金融再生法に基づく開示債権は、貸出金、債務保証見返、貸出金に準ずる仮払金、未収利息を対象としております。

注2)記載の計数は、次の方法により算出しています。

①各債権区分額は、前年度末時点の自己査定に基づく債権分類を基準として、上半期(9月30日)時点の残高に修正しています。②期首から9月30日までの間に、債務者区分の変更が必要と認識した先については、9月30日時点の債務者の状況に基づき債権区分を変更しています。

2 開示債権の構成比



■用語解説

破産更生債権およびこれらに準ずる債権・・・破産・会社更生等の事由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権です。

危険債権・・・経営破綻の状況にはないが、財政状況の悪化等により元本利息の回収ができない可能性の高い債権です。

要管理債権・・・「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」と「危険債権」を除く3ヶ月以上延滞債権および貸出条件緩和債権です。

正常債権・・・債務者の財政状態および経営成績に特に問題のないもので、上記の区分に該当しない債権です。

アドレスはこちらです。

にしみの

検索

<https://www.jan.or.jp/>

ご意見・ご要望がありましたら、こちらのメールアドレスまでお寄せください。

E-mail : nishimino@jan.or.jp



@061zbbho

LINEが本誌と連携から、検索するが
QRをスキャンして登録してください

友だち追加

FM アカウント

大垣市のファーマーズマーケットでは、旬の農産物やイベントなどの情報をLINEで発信しています。



@068vocwj

LINEが本誌と連携から、検索するが
QRをスキャンして登録してください

友だち追加

女性部アカウント

女性部の活動案内をはじめ、料理や健康など生活に役立つ豆知識などの情報を発信しています。

JAにしみのYouTube公式チャンネル

写真や文字では、伝わりにくい情報を動画でお届けします。



●本冊子に記載の金額は、単位未満を切り捨てて表示しており、金額が単位未満の科目については「0」で表示してあります。そのため表中の合計、増減高および差額が一致しない場合があります。